硬質塩化ビニル管

ニホンパイプ

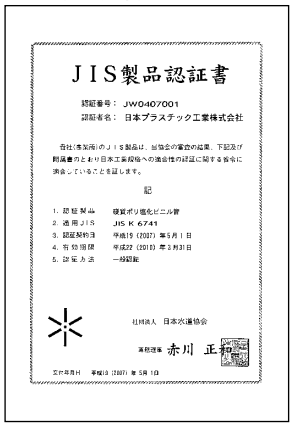
有孔管

ISO 9001 JSAQ381／ISO 14001 JSAE276

日本プラスチック工業株式会社

ニホンパイプ有孔管の特長

JIS 表示認定書（JIS K 6741）



ＪＩＳ製品認証書

認証番号： JW0407001
認証者名： 日本プラスチック工業株式会社

貴社(貴製所)のＪＩＳ製品は、当協会の審査の結果、下記及び別紙書のとおり日本工業規格への適合性の認証に関する省令に適合していることを証します。

記

1. 認証製品　硬質ポリ塩化ビニル管
2. 適用ＪＩＳ　JIS K 6741
3. 認証契約日　令和1９（2007）年5月1日
4. 有効期限　平成27（2015）年3月31日
5. 認証方法　一般認証

社団法人　日本水道協会
業務理事　赤川　正和

品質システム登録証

JIS Q 9001：2000
JSAQ 381

環境マネジメント
システム登録証

JIS Q 14001：2004
JSAE 276

1．重量：軽量で取り扱いが便利

ビニル有孔管の比重は 1.43 と非常に軽く取り扱いが楽で、現場敷設時の作業が容易に行なえます。

2．施工性：接続、加工が簡単

有孔管の一端はスリーブ加工付ですから、管の接合は受口に挿入するだけです。長さも 4 m 程度ですから敷設作業が早くなります。

3．流量：流れがよく土砂の沈澱が少ない

有孔管の内面は非常になめらかで土砂の付着するようなこともなく、いつまでも流れの良さは変りません。集水のための孔は土壌の透水率を充分検討し、充分な孔数に加工してあります。さらに、集水した水の排水を考えて下部 120° には孔はありません。

4．強度：弾力性に富んでいる

原管は硬質塩化ビニル管ですから、コンクリート管や陶管に比べて運搬・施工が容易です。陶管のように割れやひびが入ることがなく可とう性があります。ニホンパイプ有孔管は、使用上充分な強度を持っており埋設荷重・繰り返し外圧にも安定した強度を持っています。さらに弾力性に富んだビニルパイプです。

5．耐久性：耐薬品性にすぐれている

硬質塩化ビニル管ですから耐薬品性にすぐれ、化学的に安定した性能を持っています。土中に埋設されても酸・アルカリによって腐食することもありません。埋設されるとほとんど経年変化がないため、材質の変化もありません。

6．経済性：材料、工事費が節約できる

材料単価は塩ビパイプですから他管種に比べると半分程度になるものもあります。材料高でこれまで敷設できなかったような場所でも敷設が可能です。作業時間は大幅に短縮され、運送費も安く上がり、破損によるロスもほとんどなく、あらゆる点で経済的なパイプです。

7．納期：納入が迅速

ニホンパイプ有孔管は、常時在庫していますから納入が迅速です。

⚠ 塩ビ管の安全使用のための注意事項

警告　**残材・廃材の現場焼却はしない**で下さい。
塩ビ管・継手を燃やすと有害な塩化水素ガスが発生してとても危険です。
絶対に燃やさないで下さい。
廃材の処分は法令及び市町村条例に従って下さい。

注意　**他用途へは使用しない**で下さい。
塩ビ管・継手は各種の規格があり、下水道用・水道用・電線用等の用途が決められています。他の用途に使用すると強度不足により破壊事故などの原因になります。

注意　荷くずれや管上からの転落などによる事故防止のため、**荷扱時の事故防止**を行って下さい。
大口径管や結束した管は、重いので安易に扱うと危険です。ケガ防止のため荷扱いには十分注意して下さい。
管の表面はすべりやすく事故のもとになりますので、管の上には乗らないで下さい。

注意　**接着剤の保管・取扱いに注意**して下さい。
接着剤は引火しやすいため、消防法の危険物に該当します。
保管に当っては、法令及び市町村条例を守って下さい。
また、有機溶剤が含まれますので、使用時は換気と火気に十分注意して下さい。取扱い説明にしたがい作業を行って下さい。

取扱上の注意点

1．運　　搬

1）運搬作業時には、ケガ防止のために、必ずすべりにくいゴムびき手袋を着用して下さい。
2）積み降ろしの際は管を放り投げたり、引きずったりしないで下さい。衝撃により管が破損したり傷ついて、ケガの原因になります。
3）運搬時には管の傷つき・変形防止のため、トラック荷台との接触部分・ロープの固定部分などにはクッション材を当てて下さい。
また、ロープのゆるみやはずれによる管の落下に十分に注意して下さい。

2．保　　管

1）管・継手の保管場所は原則として屋内とし、止むを得ず屋外に保管するときは、簡単な屋根を設けるか、または不透明シートをかけ直射日光を避けると共に、熱気がこもらないように風通しの良い状態に保って下さい。透明シートは、遮蔽力が劣るので使用しないで下さい。
2）変形防止のため管の積み方は、井げた積みまたは千鳥積みにし、必ず荷崩れ防止の端止め材を施して下さい。
（カタログの施工標準を参考にして下さい）
3）やむをえずたてかけ保管する場合は、安全確保のために、ロープがけなどの転落防止策を施して下さい。

3．施　　工

施工にあたっては、作業の安全性とパイプラインとして性能を保証するため、カタログ記載の注意事項や施工標準に従って施工して下さい。施工条件などによりこれに従えない場合や、不明な点はお問い合わせ下さい。

1）正しい施工と安全のために、切断・せん孔・接合等の作業には指定の工具を使用して下さい。また、それぞれの取扱説明書の内容を十分理解した上で使用して下さい。

2）管の切断・せん孔のとき、特に低温時にはヒビワレ発生に十分注意して下さい。
埋設された管は余堀を十分にして管に応力が加わらないようにしてから切断・せん孔を行って下さい。

3）接着接合の場合は、接合後の管内の換気を十分に行って下さい。
接合後管路を閉塞状態にするとソルベントクラックという、溶剤蒸気によって塩ビ管に小さな亀裂が発生する恐れがあります。特に冬季配管には注意して下さい。

4）塩ビ管には、ある種の有機化合物、たとえばアセトン・シンナー・防腐剤（クレオソートなど）・殺虫剤・白アリ駆除剤など、管の材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり塗ったりしないで下さい。
なお、上記物質を地面にこぼすと、地中に浸透することによって管が侵される場合があるので注意は必要です。
土壌汚染が予想される場所では迂回配管をする等の防止策を行って下さい。

5）曲がり配管に当たっては、必ず継手（ベンドなど）を使用して下さい。
管の生曲げを行うと歪みが残り、破損事故の原因になります。

6）現場での加熱加工は、管を焦がしたり焼いたりすることで強度が低下するため決して行わないで下さい。

7）塩ビ管には、直接ねじを切らないで下さい。
切削加工で発生するクラックや、絞込みにより発生する残留応力によって管が破損することがあります。
（推進用のスパイラル継手付き直管に加工されたネジは、上記の問題が発生しないよう設計された形状であり、工場内にて管理されて加工されています。塩ビ管メーカ以外の方はネジ加工を行わないで下さい。）

8）不等沈下や温度変化などによる伸縮に対応するため、適切な場所に、可とう性のある継手を設置して下さい。

4．接　着　剤

1）接着剤は塩ビ管専用のものを使用して下さい。
取り扱いは説明書や製品に記載の事項に従って行って下さい。
またこれらは他の用途には使用しないで下さい。

2）古くなって固まりかけた接着剤は、接着効果が低下し漏水の原因になりますので使用しないで下さい。

3）かぶれ・ただれを防ぐために手袋を着用し、直接皮膚に触れないよう注意して下さい。皮膚に触れた場合は速やかに石鹸水でよく洗って下さい。目に入った場合はこすったりせずすみやかに医師の診断を受けて下さい。また、使用後は手洗いうがいを十分に行って下さい。

ニホンパイプ有孔管の規格（塩化ビニル管・継手協会規格AS13準拠品）

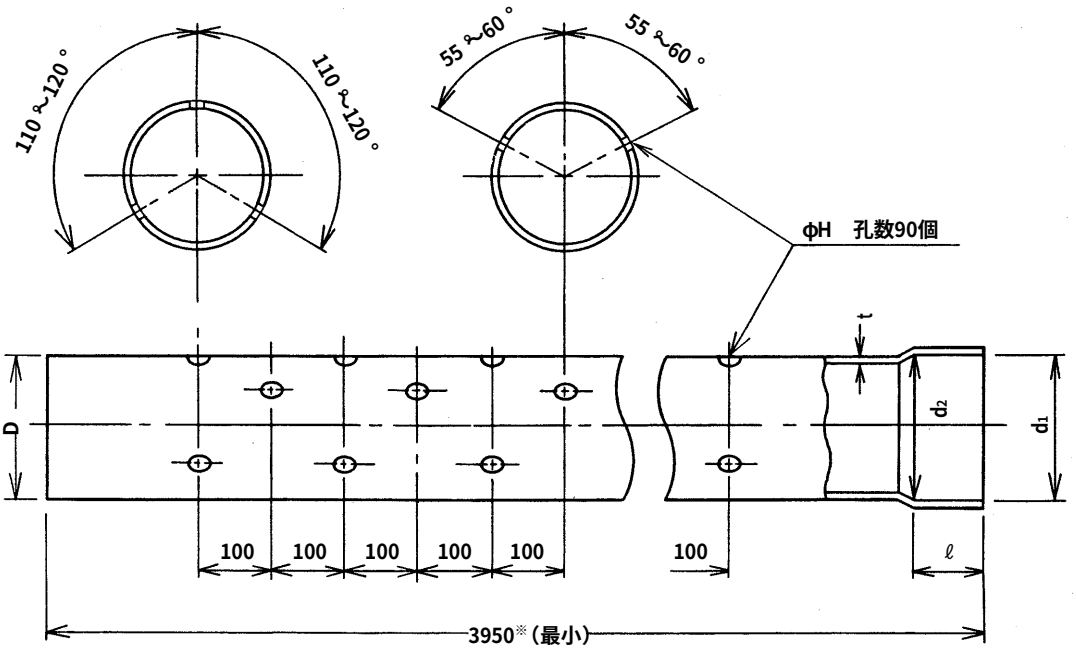
●印はメーカー規格品

（単位：mm）

種　類	呼び径	原管				孔径 (H)	受口		
		外径		厚さ			入口平均内径	奥平均内径	長さ
		D	平均許容差	t（最小）	許容差		d_1（最小）	d_2（最小）	ℓ（標準）
VP	● 40	48	±0.2	3.6	＋0.8	7	48.4	46.9	55
	50	60	±0.2	4.1	＋0.8	7	60.2	59.2	40
	65	76	±0.3	4.1	＋0.8	7	76.3	75.1	40
	75	89	±0.3	5.5	＋0.8	12	89.3	88.0	40
	100	114	±0.4	6.6	＋1.0	12	114.4	112.8	50
	125	140	±0.5	7.0	＋1.0	12	140.5	138.7	65
	150	165	±0.5	8.9	＋1.4	20	165.5	163.4	80
	200	216	±0.7	10.3	＋1.4	20	216.7	214.0	115
	250	267	±0.9	12.7	＋1.8	20	267.9	264.8	140
	300	318	±1.0	15.1	＋2.2	20	319.0	315.5	165
VU	● 40	48	±0.2	1.8	＋0.4	7	48.4	46.9	55
	50	60	±0.2	1.8	＋0.4	7	60.2	59.2	40
	65	76	±0.3	2.2	＋0.6	7	76.3	75.1	40
	75	89	±0.3	2.7	＋0.6	12	89.3	88.0	40
	100	114	±0.4	3.1	＋0.8	12	114.4	112.8	50
	125	140	±0.5	4.1	＋0.8	12	140.5	138.7	65
	150	165	±0.5	5.1	＋0.8	20	165.5	163.4	80
	200	216	±0.7	6.5	＋1.0	20	216.7	214.0	115
	250	267	±0.9	7.8	＋1.2	20	267.9	264.8	140
	300	318	±1.0	9.2	＋1.4	20	319.0	315.5	165

備考　入口平均内径及び奥平均内径とは、受口の入口部及び奥部における相互に等間隔な２方向以上の内径測定値の平均値をいう。

※　穴の位置・穴径・穴数等規格外のものや、VU350 以上のものについても、加工可能ですのでお問い合せ下さい。



※有孔管は長さ４ｍの塩ビ原管を受口加工するため、加工による収縮等で長さが５～20㎜程度短くなります。

日本プラスチック工業株式会社

●ホームページアドレス　http://www.nipplasi.co.jp

本社・工場　〒485-0826 愛知県小牧市東田中字西田100番地の1
TEL.0568-72-2011(代) FAX.0568-73-7987

シート営業部　TEL.0568-72-2013

企　画　部　TEL.0568-72-2015

開発営業部　TEL.0568-72-2475

美濃工場　〒501-3782 岐阜県美濃市長瀬434番地
TEL.0575-33-1212 FAX.0575-33-3044

東京支店　〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3丁目2番12号 社労士ビル 9階
TEL.03-6225-5722(代) FAX.03-6225-5727

名古屋支店　〒485-0826 愛知県小牧市東田中字西田100番地の1
TEL.0568-72-2012(代) FAX.0568-73-7987

大阪支店　〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18番31号 新星和新大阪ビル 10階
TEL.06-6321-2218(代) FAX.06-6321-2299

仙台営業所　〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2丁目11番1号 ショーケー本館ビル 11階
TEL.022-267-4601(代) FAX.022-267-4646

福岡営業所　〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5番28号 博多偕成ビル 8階
TEL.092-472-5383(代) FAX.092-475-0492

ISO9001　本社／本社工場／美濃工場　審査登録
ISO14001　本社／本社工場／美濃工場　審査登録

○カタログ記載の規格仕様は製品改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
○許容差のない数値は標準値です。製品の写真の色は実物と異なります。